

## 女性社員活躍推進事業・好事例紹介

# 和田工業（栃木県宇都宮市） 時短制度導入や職場環境の整備で仕事と育児の両立へ

全国管工事業協同組合連合会

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が4月1日に施行された。建設業においても女性の職場での活躍を推進するための環境づくりが求められる中、和田均・宇都宮市管工事業協同組合理事長が社長を務める和田工業株式会社（本社・宇都宮市）では平成22年からいち早く、子育てのための短時間勤務制度の導入や、子どもの学校行事に参加するための年休取得の奨励など、仕事と子育てを両立できる職場づくりに取り組み、女性社員が育児を理由に退職することなく、安心して働ける環境を整えている。そうした取組みが栃木県、厚生労働省などから認定や表彰を受け、社会的評価が高まり、仕事にもつながるなどの効果も生まれている。和田社長と同社女性社員に、その取組みと効果を聞いた。（日本水道新聞「給水いんたあふえいす」8月4日号に加筆）



和田社長を中心に、後列右から康本さん（工事部）、金田さん（技術部）、永島係長（技術部）、永井主任（総務課）、廣田さん（総務課）、戸田さん（総務課）



和田工業社屋

## 1. 厚生労働省「くるみんマーク」認定

和田工業は、社員の雇用環境改善のため、子どもの学校行事に参加するための年休取得の奨励や中学生の職場体験学習、高校生等のインターンシップの積極受け入れといった「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」を行い、平成25年1月に栃木県から認定を受けるとともに、同年2月には“子育てサポート企業”として、厚生労働省から「くるみんマーク」の認定を受けた。

「くるみんマーク」の認定は、次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、一定の水準を満たした企業が対象。規模・業種等に関わらず申請することができ、認定されれば企業のイメージアップや優秀

な従業員の採用・定着にもつながるとして、平成28年3月末で2,484社が認定されている。

同社は、小学校に入学するまでの子どもを持つ社員を対象に短時間勤務制度（時短制度）も導入し、女性社員が仕事を続けられる環境を整えている。その子育てと仕事の両立に配慮した取組みが“子育てにやさしい事業所”として評価され、平成25年11月に（公財）とちぎ未来づくり財団から表彰を受けた。

このような取組みは、人材確保のみならず社会的信頼の確保にも大いに役立っている。

## 2. 時短制度導入で職場復帰、資格取得

同社の社員は現在33人、うち6人が



女性技術者が活躍

女性。1級管工事施工管理技士や給水装置工事主任技術者の資格を持ち、電子納品や申請を行っている技術部の永島裕子係長は、時短制度を活用することで仕事と家庭を両立できたという。「結婚して職場を離れてしばらくしてからパートで復帰したのですが、正社員になったらどうかと打診があった時に、時短制度があったことはありがたかった」（永島係長）。

トレースの専門学校卒業後、入社し給排水工事申請やCADによる図面作成の導入などに携わってきた技術部設計系の金田由美さんは、実家が近くにあり、子育てを手伝ってもらえたため時短制度を使うことはなかったものの、育児で退職せざるを得なかった知人らに職場環境をうらやましがられるという。「子どもが大きくなってから仕事に復帰するのはやはり難しい。正社員になりたくとも、



栃木県などからも認定、表彰を受けた

パートになってしまう。また、この仕事は給排水の資格を持つことが前提になるので、その強みもうらやましがられますね」（金田さん）。

同社はこの時短制度をさらに拡充し、資格取得のための勉強や介護も対象にした短時間正社員制度を導入。総務課経理系の廣田由子さんは結婚に伴い遠距離通勤となったため、当初は時短制度、現在はこの短時間正社員制度を活用している。「結婚しても働くのが普通なことだと思っていた。女性も働き続けられる仕組みがあるのは大きい」。

時短制度の導入など女性が働きやすい職場づくりについて、和田社長は「建設業界では今、女性技術者が注目されている。男性だけでは人材を確保できなくなることが背景にあるが、何らかの対応をしないと、結婚や育児で女性が辞めてしまう現状は変わらない。中小の民間企業

はなかなか人を補充できないし、資格を持つ技術者は特に大事」「女性が入ると、男性社員も生き生きしてくる。人手が集まらないと困っているぐらいなら、しっかりと働いていただける女性が活躍できるように変えればいい」と、その効果を話す。

こうした取組みは社会的評価、信頼にとどまらない。次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定すれば、入札参加資格の主観点で一定のポイントが得られる。

### 3. インターンシップで女性の新入社員

和田社長は平成16年に新社屋を建て

る際に、女性社員から要望のあった社内禁煙とパウダールーム設置を行った。

「職場だけでなく、難しいことだが現場でも女性が働きやすい環境を整備してあげたい」と話す。

この新社屋で高校2年生時にインターンシップを受けた工事部の康本綾菜さんは、専門学校卒業後、現場で仕事をしてみたいと飛び込んできて、4月に入社した。現在、障害者スポーツ施設の新築機械設備工事などの現場を飛び回っていると言う。明るく元気な女性の新入社員ののおかげで、男性社員の士気もおおいに上がっている。

#### プロフェッショナル データ

(平成28年4月現在)

水と空気の調和した、健やかな住環境づくりをモットーに、和田工業は環境エンジニアリングのプロフェッショナルとして、以下の資格者を有している。

- ・管工事施工管理技士 1級15名、2級6名
- ・ボイラー技士 1級1名、2級3名
- ・土木施工管理技士 1級4名
- ・冷媒（フロン）回収技術者 4名
- ・監理技術者 管・13名、土・水・3名
- ・電気工事士 2種7名
- ・建築設備検査資格者 1名
- ・浄化槽設備士 2名
- ・消防設備士 甲種1類5名、乙種6類1名
- ・貯水槽清掃作業監督者 2名
- ・消防設備点検資格者 2名
- ・給水装置工事主任技術者 17名
- ・冷凍空気調和機器技能士 1級4名
- ・排水設備工事責任技術者 12名
- ・配管技能士 1級6名、2級1名